

(三) 佐牙神社現地銘文調査報告

竹中 友里代

調査日…平成二六年十二月十五日

調査者…京都府立大学准教授 東 昇

同 特任講師 竹中 友里代

京田辺市教育委員会 松本 勇介

佐牙神社総代 林 善嗣(敬称略)

一 拝殿絵馬・扁額等銘文

①絵馬 伊勢参り図 75.2×105.5 額縁巾5.4 縁厚3.9

「奉掛御宝前 □□長筆(印)」

天明九歳己丑正月吉辰 江津村郷中」

☆天明九年「一七八九年

②絵馬 騎馬武者図 165.8×121.2 額縁巾10.5 縁厚6.5

「雨請願成就

皇都□□□

□□□□(九戌か)九月」

☆九年戌「天保九年か(「一八三八年)」

③扁額 奉納御廣前四季発句集

52.1×192.7 額縁巾6.9 縁厚3.2

嘉永三年庚戌十有二月吉辰

多賀玉舟、同梅村、狛里梅丸、寺田文七、佐山専枝、江津甚山、高木柳

支、水取南嶺、江津富貴ほか六十句に

発起春眠、同凡三、執筆亀卜の三句を掲げる

☆嘉永三年「一八五〇年

④相撲番付額 119.0×76.4 額縁巾6.5 縁厚4.0

縁「奉納」「明治廿一年十一月十六日晴天一日相撲」

「川島平右衛門敬白」

☆明治二十一年「一八八八年

⑤絵馬 源平合戦図 120.0×165.8 額縁巾7.0 縁厚4.5

「奉納御宝前 平安村上真寮

諸願成就皆令満足

寛政九年丁□ 吉日 池田山本村」

☆寛政九年「一七九七年

⑥神輿台

上部横木(台部)長さ210.3 高さ89.8 脚部「股下部開き巾56.5

上部横木(台部)裏

「 神主 山本村善三郎

奉寄進

江津 喜六

## 二 境内石灯笼等石造物 銘文

### ① 石灯笼（参道入口、石鳥居前）

（右）

表「奉燈佐牙社」 裏「寛政十戊午年八月」

側面「願主池田庄山本村」

（左）

表「奉燈佐牙社」 裏「寛政十戊午年八月」

右側面「願主池田庄江津村」

左側面「木原孫右衛門、今中源十良、川島政右衛門」

☆寛政十年＝一七九八年

### ② 社名石標

表「式内佐牙神社」 裏「大正元年十月建之」

左側面「三山木村字宮津鎮座」

☆大正元年＝一九一二年

### ③ 石灯笼（参道石階途中左）

「世話人小西次太夫」

### ④ 石灯笼（手洗横）

「寛文十二壬子年」

奉寄進 観音御「」

十一月吉祥日 十三人□敬白」

☆寛文十二年＝一六七二年

### ⑤ 石灯笼（参道石段上左右）

（右） 表「天神宮」 裏「明和六己丑龍集十一月吉日」

（左） 表「吉田大明神」 裏「明和六己丑龍集十一月吉日」

☆明和六年＝一七六九年

### ⑥ 石灯笼（境内地左へ三山木麿寺方向への道）

（右）「享保十七年 「」小右衛門

天満宮 講中 今中 六右衛門

今中 久右衛門

子正月吉日 林 善右衛門

（左）<sup>梵字</sup>「□雨奉」

☆享保十七年＝一七三二年

### ⑦ 石灯笼 一對 左右銘文同文（恵日寺平面地）

表「奉燈 氏子安全」

側面「万延元年庚申五月」

裏「願主山本村木村宗七 京都伏見屋太吉」

☆万延元年Ⅱ一八六〇年

### 三 境内神輿蔵内

①神輿鏡 各4面（神輿四方に飾る鏡）

「辛寛文十一歳

山城國江津村

上菱屋弥兵衛

亥九月吉辰

「辛寛文十一歳

山城國江津村

森理右衛門

亥九月吉辰

☆寛文十一年Ⅱ一六七一年

②神輿瓔珞

「山城國山本村」

③木箱 神輿鏡・瓔珞などを収納

蓋表「佐牙神社幕箱」 箱身側面「大正五年十月新調」

☆大正五年Ⅱ一九一六年

### 四 佐牙神社祭礼用木箱等銘文（山本村）

【木箱①】

（蓋表墨書）

「盛相

引盃」

（蓋裏墨書）

「養子

婚姻

振舞仕方之事

一昼飯後十八人呼

赤飯盛相

但し三合五勺入紙を敷く  
しるしものを付て出すへし

酒□<sup>肴カ</sup>引盃<sup>ニ而</sup>老盃宛盛切なり

盃 初献 四ツ目 肴

したし物  
醤油牛蒡

引

あとも  
出し置へし

同 貳献 三ツ目 同

かます貳切ツゝ引落し  
但しなますニ而も出すへし

同 三献 汁椀

同

たこ  
かまぼこ

貳切ツゝ引落し  
但し壱分五厘カ

貳分位まで

若したこ無之候ハ、

有合之肴<sup>ニ</sup>而も苦しい苦しからず

万端右<sup>ニ</sup>準し随分手輕<sup>ニ</sup>致へし

以上

一夕飯後村中男呼

〔箱身側面墨書〕

赤飯盛相 但し式合五勺入

〔文政十二年

酒盃右<sup>ニ</sup>同事 肴同事 但し十八人呼<sup>ル</sup>者  
少々手輕<sup>ニ</sup>致へし

己丑十一月

以上

一四ツ時分村中女呼 但し婚礼事也

山本村  
惣中  
┌

赤飯盛相 但し式合入 尤子供盛相壺合入

酒盃 同事 肴 初献 したし物  
牛 蒭 式献 かます式切  
引 落し

〔箱身側面墨書〕  
「引盃

三献 数之子  
なます 引落し

式拾人前

但し女衆ハ酒ハ随意<sup>ニ</sup>

山本村中

いたすへし

以上

盛相

右之通大小家無差別振舞いたすへし

五組  
┌

但し中分以上ハ持高壺石<sup>ニ</sup>付銀五分ツ、出銀可有之事

〔異筆〕  
「圍治老」太夫

【木箱②】

文政十二<sup>丑</sup>年十一月定

役人

中老

〔箱蓋表墨書〕

「佐牙神社什物

此盃諸事酒振舞<sup>ニ</sup>用へし肴も

御装束箱

〔貼紙〕  
「ナ」改メ神前幕入」

〔箱蓋裏墨書〕

〔異筆〕  
「一祭神 佐牙ノ彌豆男ノ神 佐牙ノ彌豆女ノ神」

一練立精好黄袍正服

壺

一袖紅生羽二重 身紅晒  
出来合 単

壺

一表地暑寒平裏キヤリコ差拔

壺

一笏

壺

一朱褙折袋共本式仕立傘

壺

一紅本金欄 但肩掛仕立  
四ツ房付 祝詞袋

壺

一河内木綿仕立上下白丁

壺

一烏帽子

壺

〔異筆〕

「一蛙又ノふくろ鳥は男根を表現し、蛙又の花は女根を現す

明治三十四年十月調之

」

〔箱身内底墨書〕

「明治三十四年十月

佐牙神社什物」

【木箱③】

〔蓋表墨書〕

「

佐 牙 神 社

神酒徳利箱」

〔蓋裏墨書〕

「昭和五庚午年 寄附者 小泉嘉一郎」

【箱④】 〔蓋ブリキ製、箱身厚紙製〕

〔蓋表墨書〕

「昭和参年拾弍月

冠 箱

山本座中」

〔箱身外底 印刷〕

「天理教庁御用達

有職御装束司

富森誠志商会

奈良県丹波市町三島

振替大阪六三七〇番」